

こおりやま広域圏内の図書館をたずねて

※本企画は、「こおりやま広域圏」内の図書館を広くご紹介し、相互利用の促進を図るためのものです。

VOL.08 あだたらふるさとホール(大玉村歴史民俗資料館)図書室 令和8年3月17日発行

図書館の概要

所在地 安達郡大玉村玉井字西庵183
電話 0243-48-2569

開館年月日 平成元(1989)年4月1日

蔵書数 (令和6年度)
(計) 16,173冊 (あだたら号含む)

貸出冊数 (令和6年度)
(一般) 1,708冊 (児童書) 5,455冊
(あだたら号) 3,062冊 計10,225冊

休館日 火曜日、年末年始

開館時間 9:30~18:30
(最終入館は18:00)



子どもたちに大人気!
移動図書館「あだたら号」



あだたらふるさとホールは、平成元(1989)年に開館した図書室併設の歴史民俗資料館です。大玉村の歴史と成り立ちを紹介する数々の資料・展示物に加え、大玉村の出身でペルーのマチュピチュ村の初代村長となった、野内与吉を記念する特設コーナーもあります。図書室は、児童書や小説等を中心に揃えています。このほか、移動図書館車の「あだたら号」を運行し、月に1度、村内2つの小学校を巡回し児童たちに喜ばれています。同一敷地には屋内運動場、隣接地に村民プール・テニスコートもあります。

図書館の特色

一般・郷土資料



児童書・小説等を中心に配架し、閲覧・学習スペースもあります。郷土資料は、大玉村関係はじめ、隣接市町関係のものもあります。

児童書



職員のおすすめ資料

『おおたま学』



渡辺 光太郎館長と
「おおたま学」

あだたらふるさとホールでおすすめする本は、大玉村の自然、歴史、産業、民俗、文化、総合からなる「おおたま学」です。「自然」では安達太良山や名勝【馬場桜】、「歴史」では遺跡や史跡、戊辰戦争、「産業」では農商工業や県民の森、「民俗」では地域の神社仏閣や祭礼、「文化」では地域出身の偉人や文化施設・行事、「総合」では【日本で一番美しい村】連合や行政、消防等を取り上げています。大山、玉井の2つの地域からなる村の魅力を伝える1冊です。

このほか、渡辺敬太郎著の「聞き書き戊辰戦争」は、戊辰戦争の激戦地となったこの地方での状況を地元目線で詳細に記した貴重な資料です。



展示物
手押し消防ポンプ等の民俗資料

マチュピチュ村を拓いた男 野内 与吉 紹介コーナー



野内 与吉(明治28(1895)~昭和44(1969))は、福島県安達郡玉井村(現・大玉村の西部)の裕福な農家に生まれ、大正6(1917)年、21歳の時ペルーに渡り、マチュピチュまでの鉄道建設に携わったことを契機にマチュピチュに移住しました。昭和23(1948)年に村に昇格すると初代村長として2期務め、村で初の大型木造建築物「ホテル・ノウチ」を建設し、裁判所や交番、郵便局、村長官舎として使用しました。さらに水力発電所の設置も手がけ、昭和44(1969)年に没するまで村の発展に絶大な功績を残しました。亡くなる前年の昭和43(1968)年には大玉村への帰郷を果たしていますが、これは昭和33(1958)年に三笠宮崇仁親王がペルーを訪問した際、長女のオルガさんが殿下に花束を贈呈したのが報道され、日本の親族が与吉の消息を知り、日本大使館を通じて実現したものです。こうした経緯から大玉村とマチュピチュ村は友好協定を締結しています。

周辺の見どころ

安達太良山
県民の森



戦死三十一人墓
大玉村玉井字上窪4
戊辰戦争の激戦地となった当地で戦死した東軍将兵の墓所。



屋内運動場
TEL 0243-48-3139
※歴史民俗資料館と同一敷地

村民テニスコート
村民プール
TEL 0243-48-4082
大玉村玉井字西庵50-2

大玉村役場

馬場桜



編集後記

玉井、大山の2つの地域が合併して誕生した大玉村の成り立ちをはじめ、地理、民俗、観光名所や、当地出身でペルーのマチュピチュ村を拓いた偉人・野内 与吉を紹介する資料館に併設する図書室。地球の反対側ペルーの古代遺跡都市を近代的な村落へと開拓した一人の男の情熱と、それを生み出した安達太良山や阿武隈川などの豊かな自然の息吹を感じました。

作成:郡山市中央図書館管理係 TEL 024-923-6601